

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信



箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

グループ対抗里山デジカメ選手権 ～作品募集の締切迫る～

「身近な森林(もり)の再発見!!」をテーマとして、里山の再生・整備や森林環境教育を主眼に置き、学校、ボランティア、企業、家族、友達等のグループが共同作業で創作したデジタル写真(3枚の組写真)を9月30日(木)まで募集しています。詳しくは、当センターのホームページ(http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/index.html)をご覧ください。多くのグループからのご応募をお待ちしています。

平成22年度 グループ対抗 里山デジカメ選手権
身近な森林の再発見!!

審査員
(写真家) 今森 光彦 氏
(農学博士) 貝木 良也 氏
(デザイナー) 青山 佳世 氏

応募期間 平成22年 9月30日(木) 必着!!

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター
〒602-9304
京都市上京区西洞院通下長者町下ル丁子風呂町100 京福森林水産総合庁舎内
TEL 075-414-9049 FAX 075-414-9329
URL http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/ e-mail ko_furui@rinya.maff.go.jp

- 2~3名のグループで写真をとる
- ホームページまたはTEL・FAXにて応募要項を請求!
- 応募する!!
- ★一次審査
- ★最終審査
- ★表彰式

森林環境教育手引書の作成 ～第1回製作検討委員会を開催～

学校教育において、当センターで作成している森林環境教育推奨事例集や森林環境教育プログラム(子ども向け)をより活用いただくため、小学校の学習指導要領に対応した森林環境教育の指導計画等をまとめた教員向けの森林環境教育手引書の作成に本年度取り組むことにしています。

その一環として、8月18日(水)に京都市内で、京都教育大学教授の山下宏文氏をはじめ京都市立洛央小学校教諭の岡本洋子氏、高槻市立大冠小学校教諭の立花禎唯氏、林業家の波多野達二氏を委員とする第1回森林環境教育手引書製作検討委員会を開催しました。

会議では、山下委員を座長をお願いし議事を進めていただき、小学校の学習指導要領に基づき、学科、学年ごとに森林環境教育に関連する事項を整理するとともに、指導計画の内容・構成等を検討し、手引書の作成を進めることとしました。



山下先生を座長に検討の様子

森林環境教育セミナーの開催 ～小学校・中学校の先生を対象に実施～

8月19日(木)に箕面国有林勝尾寺園地周辺で、箕面市、豊中市の2年目の小学校・中学校の先生を中心に20名の参加をいただき、京都大阪森林管理事務所、ボランティア団体の協力を得て、森林環境教育セミナーを開催しました。

当セミナーは、学校教育における森林環境教育の導入を促進することを目的として、箕面市教育委員会との共催により平成17年度から実施し、今回で6回目の開催となります。

今回のセミナーのメニューとしては、これまでの京都教育大学の山下宏文教授による講義「森林環境教育の重要性と進め方」、間伐体験に、身近な箕面国有林を知ってもらうための箕面森林官による管内概要説明、当センターで昨年8月に発行した森林環境教育推奨事例集の中から「色あわせ」、「地球温暖化問題と森林」(二酸化炭素と酸素の量の変化を調べる)、「森クラフト」の実践を加えて実施しました。

セミナー最後のふりかえりの時間では、参加した先生から、「間伐では、木を伐ることも森のためになることが分かった。子どもたちにも話したい」、「木を倒す向きを考えることが重要だと分かった」、「色あわせでは、普段見慣れた緑色が自然の中には意外にないものと思った」、「自然の物を使って作るクラフトはとても楽しい」などの感想が聞かれ、今回のセミナーを通して楽しく感じたことを、学校の授業において子どもたちに伝えていただくことを期待しています。



山下先生による講義



箕面森林官による管内概要説明



ボランティアの指導のもと間伐体験



カラーカードと同じ色のものを探す



二酸化炭素の量を測定



見本を参考に作品づくり

森林環境教育研修 ～現地実習を当センターで担当～

森林環境教育研修は、各森林管理署等の森林ふれあい係長等を対象に、8月25日(水)から27日(金)の3日間局で実施され、そのうち26日(木)の現地実習を当センターで担当しました。

当日は箕面国有林エキスポの森で、13名の研修生が参加し、午前中は間伐体験、ロープワークの実践、午後からは当センターで実施している「オオクワガタの棲(す)める森づくり」の取組内容を説明後、当研修の本題である森林環境教育推奨事例集を活用した事例の実践として「色あわせ」、「地球温暖化問題と森林」、「森クラフト」を体験していただきました。

ロープワークの実践については、「箕面体験学習の森」整備事業検討委員会の委員である鎌谷計三氏に講師をお願いし、ボーイスカウト時代に培った技術を伝授していただきました。研修生は時間の経つのを忘れるほど、いろいろな結び方を繰り返し練習し、仕事にも応用できると大変好評でした。

研修生の皆さんには今回の現地実習を通し、楽しく体験してもらったことを、今後森林教室等に携わった時に、その楽しさを子どもたちに伝えていただくことを期待しています。



鎌谷さんから結び方を熱心に教わる



可愛く出来上がった作品を披露

第1回ふれあいセンター運営推進懇談会の開催

6月28日(月)に京都市内で、当センターの効率的な運営を推進するため、NPO法人地球緑化センター事務局次長の金井久美子氏、毎日新聞社京都支局長の北出昭氏、京都教育大学教授の山下宏文氏を委員とする本年度第1回目のふれあいセンター運営推進懇談会を開催しました。

会議では、当センターの本年度の活動状況について、各担当指導官から説明を行いました。委員の方々からは、教員を目指す大学生を対象とした森林環境教育セミナー(※)について、「教員になる前にセミナーで体験しておくことが、教師になった時に非常に結びついていくと思いました。今後も取組をしていただけるとありがたいです」、グループ対抗里山デジカメ選手権について、「入選結果は次の年のことを考えたら、入選しましたよという案内を地域のマスコミに発表してはどうですか」、森林環境教育推奨事例集について、「教育新聞で紹介してもらって、希望者は連絡するともらえますよというふうにしてはどうですか」などの意見等がありました。

当方から、「本日いただいた意見等については、今後の当センターの活動に活かしていきたい」と述べ、懇談会を終了しました。

(※関連記事は、H22.6.17発行のこだま通信・第43号に掲載していますので、ご参照ください。)



委員との意見交換の様子



萩の花

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター
TEL:075-414-9049/FAX:075-414-9029 URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/index.html
〒602-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル 京都農林水産総合庁舎1F

